

国語科学習指導案

令和5年6月2日（金） 学習指導Ⅲ 第2学年1組（1年1組教室） 指導者 田島 友香

【単 元】 2年1組たんぽぽの会（『スイミー』 光村図書2年上）

考察	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
育成を目指す資質能力	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することの知識及び技能（（1）ク）	場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する能力（C（1）エ）	言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度
子どもの実態	文学的な文章を読んで、想像したことを音読に表すことができるが、言葉の響きなどに気を付けて、想像したことを音読に表出することに課題がある。	文学的な文章において、場面の様子や登場人物の行動を基に、それぞれの場面の内容を把握し、物語の内容の大体を捉えることができるが、場面の様子と結び付けて、登場人物の行動を具体的に想像することに課題がある。	- 自分から文章を読み、想像したことを本文シートに書き込むことができる。 - 友達の考えを聞くだけで、考えの根拠を尋ねたり、自分の考えを伝えたりすることに課題がある。
価値	・附属小学校には、保護者による読み聞かせの会（たんぽぽの会）がある。読み聞かせをする場合、聞き手が物語の世界に没入し、登場人物の視点に立って物語を味わうことができるよう、読み手は、絵本の挿絵と叙述から、場面の様子や登場人物の気持ちを具体的に想像して音読として表し、聞き手に伝える必要がある。2年1組たんぽぽの会として、1年生に向けて音読発表会を行うことで、1年生のときに2年生のお兄さん、お姉さんと一緒に遊んでもらったり勉強したりしたときの憧れの気持ちと重ねて、相手意識を高めることができる。また、1年生に『スイミー』の世界を味わってもらえるように、想像したことを音読に表そうと、音読の仕方を工夫することができる。音読の目的や聞き手が明確になることで、各場面において、スイミーの行動について具体的に想像する必要性が高まり、想像と音読を繰り返しながら、粘り強く取り組むことができる。		
	「こわかった。」や「かんがえた。いろいろかんがえた。」のように短い文で端的に書かれているため、言葉の響きを意識しながら音読しやすくなっている。また、自分と友達の音読の仕方の違いから、友達の感じ方にも着目でき、自他の読みを深めることにつながる。そのため、言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。	『スイミー』では、場面の様子を表す際に、「ミサイルみたいに」のような比喩表現が多く使われている。このような表現を手掛かりに、海の中の世界について、スイミーの視点に立って想像することにより、場面の様子を具体的に想像でき、場面の様子と結び付けて、スイミーの表情や口調、様子を考えることができる。そのため、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する能力を高めることができる。	『スイミー』には、色や時間、大きさなど、想像を広げるための要素が多くある。その言葉と言葉を結び付けることで、多様な想像が生まれてくる。また、自他の考えを聴き合うことで、自分の想像が豊かになり、物語をより味わうことができる。そのため、思いや考えを伝え合おうとする態度を養うことができる。
見方・考え	『スイミー』で使われている言葉の意味、働き、使い方等に着目しながら、場面の様子とスイミーがしたことを表す叙述、言葉と言葉の関係を捉えたり問い直したりして、文学的な文章を読み味わうこと。		
今後の学習	2年「お気に入りの本をしょうかいしよう（『お気に入りの本をしょうかいしよう』『ミリーのすてきなぼうし』 光村図書2年上）」において、読んで感じたことや分かったことを共有し、お気に入りの本を紹介する学習へと発展していく。		

指導と評価の計画

目標	『スイミー』を読み、行動描写と場面の様子とを結び付けながら、登場人物の行動を具体的に想像して、音読することができる。			
言語活動	『スイミー』を読んで、具体的に想像したことを基に、音読する活動			
評価規準	(①知・技) 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(Ⅰ)ク) (②思・判・表) 「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(CⅠ)エ) (③主体的態度) 進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って想像したことを音読しようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目＜評価方法（観点）＞※太字は「記録に残す評価」
つかむ	事前	○たんぼの会の読み聞かせを聞く。		
	1	○『スイミー』を読んで、初発の感想を書き、試しの音読を録音する。	○想像したことを音読に表すことについての課題意識を高められるよう、たんぼの会の読み聞かせの写真を提示する。	◇『スイミー』を読んで、想像したことを基に、言葉の響きやリズムを意識しながら、自分なりに音読している。＜音読①＞
	1	○初発の感想や試しの音読について話し合い、学習課題をつかみ、学習計画を立てる。 学習課題 2年1組たんぼの会になって、想像したことを音読して1年生にスイミーのおもしろさを伝えよう	○『スイミー』について想像することのよさに気付けるよう、初発の感想や試しの音読を聞き合う機会を設定する。	◇『スイミー』を読んで、想像したことを音読に表すことへの興味をもち、学習課題について発言したり記述したりしている。 ＜発言・ノート③＞
ふかめる	1	○『スイミー』の場面の区切りを話し合い、あらすじを捉える。	○登場人物の行動の大体を捉えられるよう、学習用語「あらすじ」とそれをまとめる文型を提示する。	◇「（～している）スイミー。」の文型で、5つの場面を短い言葉でまとめて記述している。 ＜ノート②＞
	5	○『スイミー』を読み、想像したことを聴き合ったり、音読したりする。 ・兄弟たちと楽しく暮らすスイミー（最初～P.64 L.5） ・まぐろから逃げるスイミー（P.66 L.1～P.67 L.10） ・おもしろいものを見て元気になるスイミー（P.68 L.1～P.69 L.10） ・小さな赤い魚たちを見付けるスイミー（P.70 L.1～P.71 L.10） ・ 小さな赤い魚たちと協力して大きな魚を追い出すスイミー （P.72 L.1～最後） （本時）	○登場人物の行動を具体的に想像できるよう、「したことを表す言葉」と「見えているもの・聞こえているもの」という視点を提示する。	◇「 したことを表す言葉 」と「 見えているもの・聞こえているもの 」という視点から、複数の叙述をつなげて、登場人物の行動について具体的に想像したことを発言したり記述したりしている。 ＜発言・タブレット②＞
	2	○想像したことを基に、『スイミー』の音読をする。	○自他が想像したことに合った音読になっていることの有無を確認できるよう、グループで自分たちの音読を録音したり聞いたりする機会を設定する。	◇想像したことを基に、言葉の響きやリズムを意識しながら、音読している。 ＜音読①＞
えふるりか	2	○1年生に向けて音読発表会を行い、単元の学習の振り返りをする。	○登場人物の行動を具体的に想像できたことを実感できるよう、試しの活動での音読と、音読発表会での音読を比較する機会を設定する。	◇学習課題の解決状況に関わって、積極的に音読したり想像したりしたことを友達と聴き合うという学び方のよさについて発言したり記述したりしている。 ＜発言・ノート③＞

本時の学習（8／12時間目）

ねらい 「小さな赤い魚たちと協力して大きな魚を追い出す」場面におけるスイミーの行動について、自他の考えを聴き合ったり、音読したりすることを通して、スイミーの行動を具体的に想像することができる。

評価項目 「したことを表す言葉」と「見えているもの・聞こえているもの」という視点から、複数の叙述をつなげて、登場人物の行動について具体的に想像したことを発言したり記述したりしている。 <発言・タブレット②>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。 ・たんぽぽの会の読み聞かせは、物語の中に入り込んだような感じになるな。1年生に『スイミー』のおもしろさを味わってもらえるような音読がしたいな。 ・「そうだ。みんなでいっしょにおよぐんだ。海でいちばん大きな魚のふりをして。」の音読は、まだおもしろさを伝えられていないね。スイミーのしたことを想像して、音読をよりよくしたいな。（課題意識） めあて：5の場面について想像し、想像したことを音読に表そう	○2年1組たんぽぽの会になって1年生にスイミーのおもしろさを伝えるという相手意識と目的意識を想起できるよう、附属小学校のたんぽぽの会の読み聞かせのよさについて問いかける。 ○5の場面のスイミーの行動について具体的に想像したことを音読に表すことへの課題意識をもてるよう、前時に書いた学習の振り返り「次に取り組みたいこと」で記述した内容を問いかける。
2 5の場面について、想像したことを聴き合ったり音読したりする。 ・「そうだ。みんなでいっしょにおよぐんだ。海でいちばん大きな魚のふりをして。」はスイミーのセリフだから線を引いておこう。 ・小さな赤い魚たちを見たときに、兄弟たちと同じように、大きな魚に食べられてしまうことを心配したから、大きな魚を追い出すために、スイミーはみんなで一緒に泳ごうって言ったのかな。書き込んでおこう。 ・私もペアの友達に聞いてみよう。ペアの友達は、「それから、とつぜん、スイミーはさけんだ。」のところからつなげて、叫んだ理由も考えているな。私が気になっているところも関係しているから、友達の考えを聞いてみたいな。 ・「とつぜん、スイミーはさけんだ。」のところと「そうだ。」のところをつなげて音読に生かしてみよう。突然叫んだから、大きな声で早く読むのがいいな。でも、なんで突然叫んだのかな。 ・5の場面の最初が「それから」となっていて、4の場面の「スイミーはかんがえた。いろいろかんがえた。うんとかんがえた。」のところとつながっているから、突然思い付いたのだな。 ・おもしろいものを見て元気を取り戻したスイミーが、小さな赤い魚たちにも元気になってもらいたい思いで、長い時間考えていたと思うから、「そうだ。」のところは元気よく読むと、私の想像したことが伝わりそうぞ。（課題を達成した意識）	○本文の叙述を基に、スイミーの行動について具体的に想像できるよう、タブレットにペアで見合うことができる本文シートを用意し、「したことを表す言葉」に線を引くよう促す。 ○スイミーの視点に立って、具体的に想像できるよう、「見えているもの・聞こえているもの」という視点を提示し、線を引いた叙述について、スイミーから見えているものや聞こえていること、スイミーの行動の理由を書き込むよう促す。 ○自他の想像したことについて、その根拠と合わせて聴き合うことができるよう、互いの想像したことが異なっていて、互いの想像したことの根拠を聴き合ったり、自分の考えを伝えたりしているペアを称賛する。 ○想像したことを基に、ペアで考えを聴き合ったり音読したりすることを繰り返すことができるよう、想像することや、聴き合うことが停滞しているペアに、想像したところにおける音読の表し方を問いかける。 ○複数の叙述をつなげて想像するきっかけを得られるよう、具体的に想像ができないことや想像したことを音読に表せないことといった困り感を取り上げ、叙述から想像できることや音読の表し方を問いかける。 ○本時で想像したことを生かして音読することができるよう、自分が書き込んだ本文シートを基に、5の場面についてペアで音読を聴き合うよう促す。
3 本時の学習の振り返りをする。 ・大きな魚を追い出した場面のスイミーについても想像して、音読できたな。次は、音読発表会に向けて、もう一度最初の場面から音読してみたいな。	○学習の達成感や課題を実感し、次時の見通しをもてるよう、「できたこと」「次に取り組みたいこと」という視点から、ノートに本時で学習したことの振り返りを記述するよう促す。